

年間授業計画表（令和5年度）

年間授業計画表（令和5年度）		担当教員		大森	
教科・科目	フードデザイン	単位数	2	学年・学級	3学年・選択 C2,C3
教科書	フードデザイン～cooking & arrangement 教育図書				
補助教材	スーパーライブビュー 東京書籍				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・食について興味を持ち、豊かな食生活を送るための知識や技術を身につける。 ・実践的に活用し、発展させる能力の育成。 				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・食とおいしさ ・食を取り巻く現状 (栄養摂取の現状、食の外部化、食と環境) ・季節と食 ・調理の基礎と基本 	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしさや栄養に関わる知識を学び、食生活を充実させる。 ・栄養の摂取状況や食の外部化など、食生活の課題を理解し、自己の考えを確立する。 	1 2
1 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素のはたらき ・健康に必要な栄養素 (炭水化物・脂質・炭水化物・ミネラル・ビタミン) ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を維持するために必要な栄養摂取量や栄養素の特徴を理解する。 ・各栄養素をバランスよく摂取する重要性を理解する。 	1 4
2 学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の特徴 ・食品の選択と取り扱い ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな食品について、特徴とその調理性について理解する。 ・食中毒の危険性について知り、正しい予防ができるようになる。 	1 4
2 学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと食事計画 ・献立作成 ・様式別の献立と調理・食卓作法 ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの特徴を理解し、食事計画の重要性を知る。 ・献立作成の留意点を理解し、望ましい献立作成ができる。 ・様式別の食事の特徴を知り、それぞれの作法を理解する。 	1 6
3 学期 期末考査	個別指導		2 2

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	それぞれの項目についての知識を得て実生活に照らして理解し、自らの生活に活かすことができるか。	生活課題を発見し、解決策を講じて実践する力があるか。物事を考察し、自分の考えとともに論理的に伝えることができるか。	自己の生活を振り返り、改善しようと考え、発展的な社会生活を送るための方策を考えることができるか。
評価方法	学期ごとの定期考査の状況、課題などの提出物、実習時の取り組み状況、平常における授業への取り組み状況を総合して評価する。大まかな評価の割合は、定期テスト 50%・課題 30%・実習への取り組み状況 10%・授業への取り組み 10%。3 学期は課題の提出を大きく評価する。		

学習のポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 日頃から食に興味を持ち、自主的に調理を行うことで理解度や技術が向上する。
---------	--

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員		大森・菊島・武井・会田	
教科・科目	家庭総合	単位数	2
		学年・学級	3学年・全学級
教科書	家庭総合 第一学習社		
補助教材	スーパーライフビュー 東京書籍		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活、家族、子どもと高齢者及び福祉に関する知識・技術の習得。 ・学んだことを生活に活かす能力の育成。 		

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの働き ・ライフスタイルと住まい ・快適で健康な住まい ・インテリアコーディネート 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能や気候風土に応じた住まいの工夫を理解し、ライフスタイルや状況に応じた快適な住まい方の実践を考えられる。 	12
1学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な住まい ・これからの住まいとまちづくり ・住空間の設計 ・平面設計実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの安全やこれからのまちづくりを理解し、対策を考えることができる。 ・シール教材でライフスタイルに合わせた平面設計ができる。 	14
2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・命をはぐくむこと ・妊娠の経過と母体の健康 ・子どもの発育と発達 (発達区分、身体と運動機能、心と言語) 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を育てることの責任について考え、妊娠・出産の理解を深める。 ・子どもの発達について理解し、適切な保育への知識を深める。 	14
2学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びとふれあい ・絵本製作 ・乳幼児の保育 ・子育て支援と児童福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活について学び、子どもの成長に不可欠な要素への理解を深める。 ・絵本製作を通じ、適切な保育への態度を深める。 	16
3学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心と体 ・高齢者福祉と共生社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者体験などを通して加齢に伴う様々な変化について理解し、高齢者との接し方を考える。 	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	それぞれの項目についての知識を得て実生活に照らして理解し、自らの生活に活かすことができるか。	生活課題を発見し、解決策を講じて実践する力があるか。物事を考察し、自分の考えとともに論理的に伝えることができるか。	自己の生活を振り返り、改善しようと考え、発展的な社会生活を送るための方策を考えることができるか。
評価方法	学期ごとの定期考査の状況、課題などの提出物、実習時の取り組み状況、平常における授業への取り組み状況を総合して評価する。単元によって異なるが大まかな評価の割合は、定期テスト 50%・課題 30%・作品の取り組み状況 10%・授業への取り組み 10%。		

学習のポイント	【補習・補講計画、参考図書など】
---------	------------------

年間授業計画表（令和5年度）

年間授業計画表（令和5年度）		担当教員		武井	
教科・科目	服飾手芸	単位数	2	学年・学級	3学年・選択C1,C2
教科書	家庭総合 第一学習社				
補助教材	スーパーライブビュー 東京書籍				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な手芸作品の製作。 ・手芸技法に関する実践的な知識・技術の習得。 				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の特徴 ・甚平の製作 裁断、身頃の縫製 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成と平面構成の違いを理解する。和服の各部の名称を知る。 ・和服の裁断の仕方を知り、正確に裁断する。 	12
1学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・甚平の製作 脇の縫製、裾の縫製 	<ul style="list-style-type: none"> ・甚平の身頃の縫い方、おくみの縫い方を理解し、くりこし上げやきせの役割を知る。 ・丁寧に縫う技術を高める。 	14
2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・甚平の製作 えりつけ、袖の製作、そでつけ、仕上げ ・和服の着装、管理方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・えり、袖の構造、作り方、付け方を理解し、正しく縫える。 ・正しい着装とたたむことができる。 	14
2学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な手芸（刺し子） ・刺し子の作品製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な手芸技法の基本的な事項を理解し、技術を習得する。 ・課題作品を完成させ、手縫いの技術の向上を図る。 	16
3学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成と平面構成の違いを理解する。和服の各部の名称を知る。 ・和服の裁断の仕方を知り、正確に裁断する。 	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	それぞれの項目についての知識を得て実生活に照らして理解し、自らの生活に活かすことができるか。	生活課題を発見し、解決策を講じて実践する力があるか。物事を考察し、自分の考えとともに論理的に伝えることができるか。	自己の生活を振り返り、改善しようと考え、発展的な社会生活を送るための方策を考えることができるか。
評価方法	ワークシートへの取り組み状況、レポート作成、課題作品の進捗状況と出来栄を総合的に評価する。作品の完成をもって評価の対象とする。		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <p>毎回の授業への取り組みが作品の完成に影響するため、集中して作業すること。</p>
---------	---